

# 高速道路の新設等に要する費用の縮減に係る助成制度の成果

資料-3

これまでに認定された新技術案件(全13案件)のうち以下の3案件は、高速道路会社によって標準化され、その普及が図られている。

※標準化とは、性能規定のための標準仕様書や金額算出のための標準の積算基準を作成すること

- ①「トンネル照明設備における新型照明器具の開発」
- ②「トンネル用多孔陶管における新たな設置方法の開発」
- ③「中央分離帯防護柵更新工事における新工法の採用」

案件	トンネル数 (チューブ)	トンネル延長 (km)	案件	延長 (km)
①新型照明	190	235	③中央分離帯防護柵	26
②多孔陶管	136	183		

これまでに認定された以下の資材の調達の工夫は、多くの工事で活用されている。

- ①「品質管理を工夫した資材の直接調達」
- ②「コストオン方式を活用した資材調達の工夫」

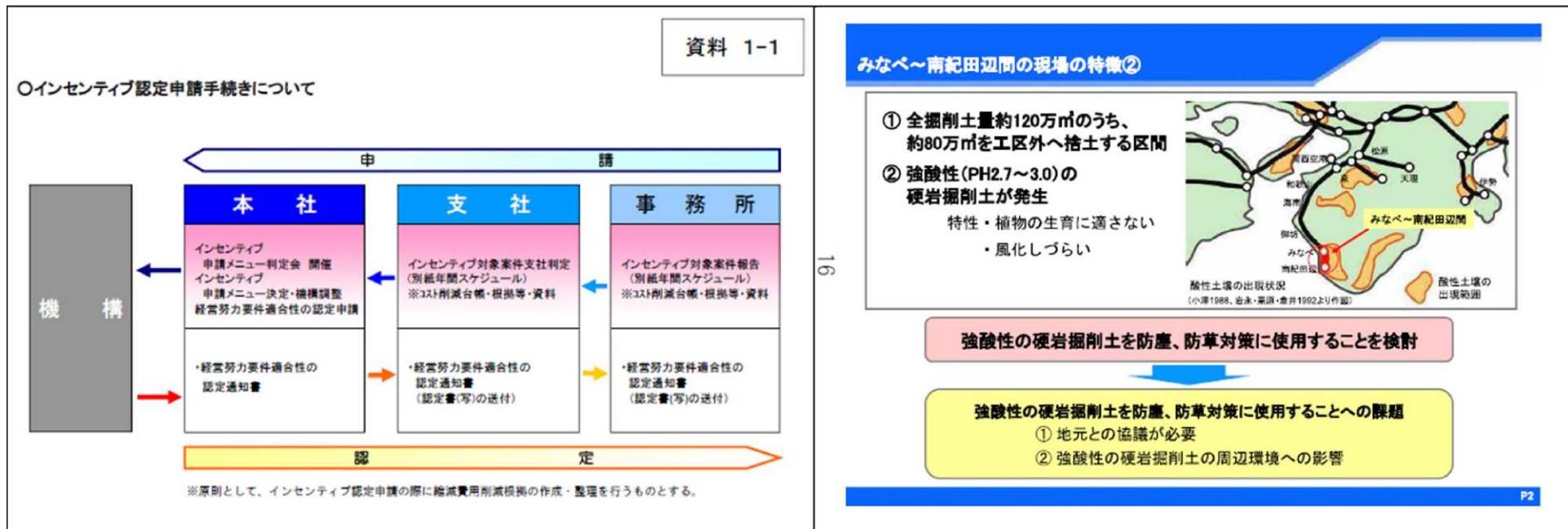
案件	活用した工事件数 (件)	主な資材
①直接調達	34	防護柵・トンネル照明器具
②コストオン	58	トンネル照明器具・遮音板・防護柵

# 助成委員会の審議内容の社内周知状況例

①助成委員会の審議内容が機構ホームページで公表された時は、その都度社内関係部署へ周知

②社内説明会などにより、これまでに審議された案件や有効期間、助成金交付手続きを説明

※説明会資料の例



③工事発注計画時にコスト縮減内容を確認